

13. アカデミアにおける任期制雇用

大学や公的研究機関といったアカデミアに就職した者について任期の有無を尋ねたところ、任期なし(終身在職権あり)と回答した割合は33.5%と約3割にとどまった(図13-1)。年齢別で見ると、年代があがるにつれ任期なしの職を得ている者の割合も増加傾向にあるものの、40代、50代でも任期制の職に就いている者がそれぞれ4割程度(40代37.8%、50代38.8%)存在した(図13-2)。テニュアトラックに結び付かない任期制ポストは3年程度の雇用であることが多く、長期的な視野に立った研究計画やキャリアプランを構築することが困難になりやすい。今後はこうしたアカデミアにおける不安定な雇用環境や雇用慣行を見直すとともに、人事や人材活用についての研究や制度構築を進める必要があると思われる。

図 13-1 アカデミアにおける任期制雇用 (全体)

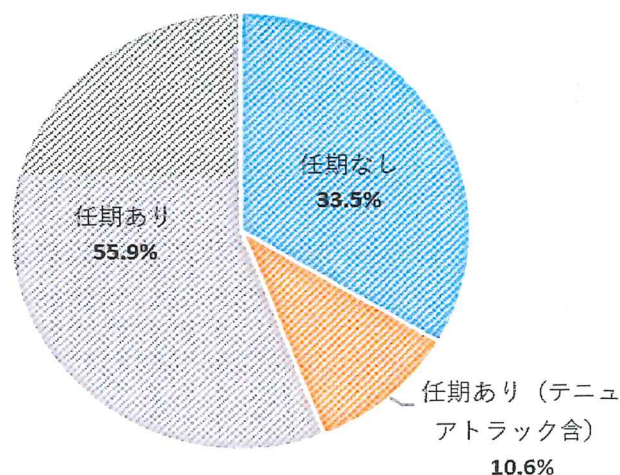


図 13-2 アカデミアにおける任期制雇用 (年齢別)

